

品質性能試験報告書

試験名称	木造住宅用基礎に使用されるアンカーボルト「オメガアンカーボルト M12」の引張試験					
依頼者	株式会社タナカ					
試験体	試験体記号	アンカーボルト		住宅用基礎	数量	
	M12	寸法：全長；335mm 埋め込み深さ；200mm ねじ部；M12 軸部；φ10.6mm		寸法：135mm×400mm×3000mm コンクリート：呼び強度；21 普通 21 18 20 N (JIS A 5308)	3	
<p>(注) 1. 記載内容は、依頼者提出資料による。 2. 木造住宅用基礎は、基礎の立ち上がり部分（以下、基礎相当材という）を対象とした鉄筋コンクリート造である。</p> <p>参照：図-1（試験体） 表-1（コンクリートの圧縮強度試験結果及び配合）</p>						
試験方法	<p>概要：基礎相当材上面に埋め込まれたアンカーボルトにカップラー及び加力用鋼棒を取り付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して引張荷重を連続的に加えた。</p> <p>加力装置：センターホール型油圧ジャッキ、 センターホール型ロードセル（容量；300kN、非直線性；0.2%RO、ヒステリシス；0.2%RO）</p> <p>測定装置：電気式変位計（容量；50mm、感度；200×10^{-6}/mm、非直線性；0.1%RO）及びデータロガー</p> <p>参照：写真-1（試験方法）</p>					
試験結果	試験体		最大荷重時		基礎相当材の コンクリート 圧縮強度 (σ_c) N/mm ²	
	記号	番号	荷重 (Pmax) KN	変位 (δ_{max}) mm		破壊状況
	M12	1	53.5	5.2	アンカーボルトねじ部の破断	23.7 (表-1)
		2	53.1	6.1	アンカーボルト軸部の破断	
		3	51.5	3.9	アンカーボルトねじ部の破断	
平均		52.7	5.1	—		
参照：図-2（荷重-変位曲線） 写真-2～写真-4（破壊状況）						
試験期間	平成24年 3月27日					
担当者	構造グループ 統括リーダー 川 上 修 統括リーダー代理 赤 城 立 也 主 任 中 村 陽 介 (主担当) 大 西 智 哲					
試験場所	中央試験所					